

## 8) 破損施設の改修

破損箇所や老朽化した箇所の改修等の対策を行うこと。

### 【活動のねらい】

破損箇所の改修や老朽箇所が確認された場合、改修や布設替え等の対策を行うことにより、水路の通水能力が維持できるよう保全管理することが大切です。

### 【活動の内容】

#### 8-1) 準備作業

作業にあたり、通年通水している水路等で落水するときには、取水ができない等の障害が生じる可能性がありますので、関係農家等に周知する必要があります。

改修を行う箇所やその周辺部分について、雑草等を抜き取り、落ち葉や土砂、コケ類、ごみ等を取り除き、必要に応じて洗浄を行います。



破損したU字溝

#### 8-2) 改修作業

##### ①水路（コンクリート部分）

U字溝や柵渠、コンクリートブロック等の水路構造物のひび割れている部分は、モルタルやセメントミルク、シリコン樹脂系補修材を塗り込んで塞ぎます。欠けている場合は、固く練ったモルタルで元の形状を復元します。大きく壊れている箇所は、ベニヤ板や杉板等で型枠を作り、コンクリートやモルタルを流し込みます。



U字溝の改修作業

U字溝等の破損部分が水路内に倒れ込んでいる場合は、当て木等を行い、元の形状に復元します。柵渠のコンクリート板を支える柱部分が破損している場合は、L型鋼等を用いて補強します。

#### 8-3) 改修後の管理

改修に用いたセメント等の補修材等が固まるまで、止水やセメントの養生等の必要な管理を行います。



改修したU字溝

上記の活動については、年度活動計画に基づいて、水路が落水している非かんがい期に行います。水路の柵や蓋等、安全に関わる施設の破損は、発見し次第、対応します。また、寒冷地では、補修に用いるセメント等が凍結しない時期を選びます。

### 【配慮事項】

- ・大きな損壊を発見したときには、市町村や水土里ネット等の関係機関へ連絡します。
- ・作業に先立ち、改修部分の裏側に空洞が生じていないかを目視やハンマーによる打音で確認します。空洞が生じている場合は、空洞の状況に応じて碎石や玉石、砂、モルタル、セメントミルク等を、水が浸透しないように密に充填します。
- ・超速乾セメント等、速硬性の補修材料を用いると、作業後の現場管理の手間が少なくて済みます。



柵渠



コンクリート蓋とグレーチング